１１１．六郷満山の峯入りの道

選定箇所：宇佐神宮～御許山（宇佐市）、長安寺～天念寺～無動寺～椿堂、前田～中山仙境（豊後高田市）～大不動岩屋～岩戸寺、文殊仙寺付近（国東市）

概要：宇佐神宮を起点に険しい山道や岩場を歩いて、六郷満山の寺院や岩屋を巡り、所々で行法を行いながら、国東半島の峰々を踏破する修行の道である。峯入りの明確な記録は江戸時代になってからであるが、それ以前も行者による修行は行われていたと思われる。明治時代に峯入りは一度途絶えるが、戦後に再興され、一般の人々の信仰にも支えられて、現在も続けられている。

写真提供：豊後高田市教育委員会